

令和5年
3月
定例会

長崎県長与町議会

みんなの議会

5年度一般会計当初予算…… 02 高校生にも医療費助成…… 07

11人が問う 一般質問…… 09 子ども議会開催…… 21



るための予算を審査

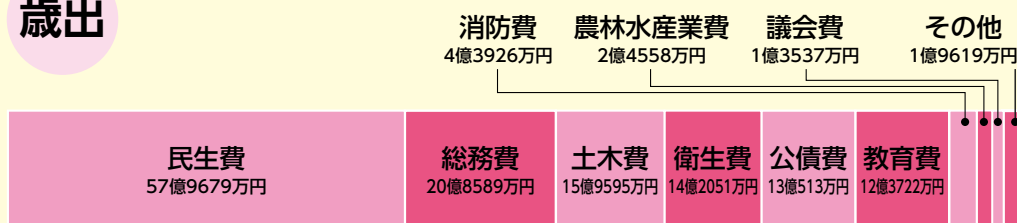
可決
賛成12:反対2

当初予算 144 億 5789 万円

歳入



歳出



(数値は端数を処理しています)

令和5年第1回定例会を3月7日から23日まで開催しました。
一般会計予算をはじめ各特別会計の新年度予算案や福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例案など、23議案を審査し可決しました。

417
万円



ファミリーサポートセンター事業

90
万円



子ども送迎バスに安全装置

619
万円



省エネ家電（2種）の購入に補助

1343
万円



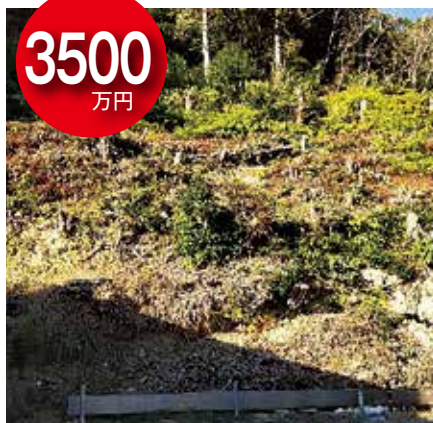
運動部活動を地域移行へ

742
万円



GIGA スクール運営支援

3500
万円



急傾斜地対策工事費

住民サービス向上を図

令和5年度一般会計

主な質疑

固定資産税の増加

Q 固定資産税は例年、前年と大きく増減がないが、今回は土地・家屋ともに大幅に増えているのはなぜか。

A 高田南土地区画整理事業の進捗により、宅地として供用開始された部分が増えたためである。

ファミサポ委託から直営に

Q ファミリーサポートセンターは、社会福祉協議会委託から町の直営になるかのような体制になるか。

A 子育て支援センターと児童館に加え、新たに高田保育所でも行うことで、利用の幅が広がると期待している。

行政手続き簡素化へ

Q LINEを使用した行政手続きによる住民サービスはどのようなものか。

A 名前などの本人確認のみによるシンプルな手続きや予約、通報などを想定している。

危険な空き家の対策を支援

Q 危険と考えられる空き家はどれくらいあるか。

A 3年度の調査時点で27件確認している。

急傾斜地対策工事

Q 嬉里郷の急傾斜地対策工事の完成年度はいつか。

A 3カ年で工事し、7年に完成予定である。

工場等設置奨励金

Q 工場等設置奨励金は土地購入後1年以内の着工が条件だが、該当しているのか。

A 土地の取得から1年以内の着工を工事中で確認している。

Q 何をもって着工とするのか。

A 家屋建物ではなく土地の囲いの工事で、対象となる。

反対討論

公平な支出の観点から反対

必要な事業の予算も多々あるが、町の財源の公平な支出という観点から見ると、要件の曖昧な工場等設置奨励金や、長期的課題を残す土地区画整理事業、街路事業には大きな問題があるので、指摘し反対する。

(河野)

賛成討論

安定した予算編成と判断

過去最高額だが、駐車場会計の編入や学校給食費の公会計化などの予算計上によるもので、それらには特定財源があり歳入歳出に影響はない。税収や交付金など経常的な歳入に変動はなく、安定した予算編成と判断する。

(八木)

全会一致
可決

国保被保険者は減少傾向

5年度国民健康保険特別会計予算

41億2444万円

国保世帯見込数
被保険者見込数

4667世帯（前年度4844世帯）
7359人（前年度7723人）

歳入



歳出



主な質疑

Q 国保被保険者の減少理由は。

A 団塊世代の後期高齢者医療制度への移行が大きい。また、社会保険への移行が令和4年10月から増えた。

Q 現在、県への移行に伴う激変緩和措置が取られており、それがなくなると赤字になるといふことだが、住民の負担を抑えるために基金を取り崩してはどうか。

A 6年度は数千万円の赤字になると考えている。これが続けば単年度で数千万円ずつ基金を取り崩していくと推測している。

可決
賛成12・反対2

75歳以上増加

5年度後期高齢者医療特別会計
予算

6億3025万円

被保険者見込数

5782人（前年度5520人）

反対討論

保険料が上がり続けている

高齢者が増えるほど、医療費が増え保険料が上がり続ける制度設計となっている。制度の問題点を国に訴え、国庫負担を抜本的に増額することを強く求める。（堤）

賛成討論

持続可能な制度運用を求める

持続可能な社会保障制度となり、安心して高齢者が医療、介護サービスなどを今後も受けられる医療制度を希望する。（安部）

重症化予防や介護予防に積極的に取り組む、様々な課題をクリアしながら、安定的で持続可能な制度運用を要望する。（竹中）

全会一致
可決

認知症相談件数増加

5年度介護保険特別会計予算

29億2081万円

被保険者見込数

1万1529人（前年度1万1359人）

主な質疑

Q 介護認定者数の状況はどうか。

A 認定者数は横ばいである。しかし、高齢化が要因で介護度が若干上がる人が増えてきた。

Q 認知症の割合は高くなっているのか。

A 地域包括支援センターへの相談件数は非常に上がってきており、認知症地域支援推進員が中心となって対応している。

可決
賛成12:反対2

高田南区画整理 一括施工4年目に向けて

5年度土地区画整理事業特別会計予算

10億9082万円

主な質疑

Q 4年度の繰越明許費(※)と合わせると5年度は約17億円の事業費となる。5年度完了の見込みはあるのか。

A 完了予定で進めるが、繰り越しもあるので少しでも消化していきたい。

Q 附帯工事の150万円の内容は何か。

A 区画整理事業で対応できない除草工事などの費用である。

※繰越明許費
歳出予算の経費のうち年度内にその支出が終わらない見込みのあるものを翌年度に繰り越して使用する経費。

反対討論

課題解決が必要な事業

事業が終了しても財政的な課題や起債の償還など数多くの問題が残る。多くの町の財源をつぎ込み、長期の事業を進めたことへの反省が何らされていない。課題解決が必要となる事業に反対する。
(河野)

賛成討論

一日も早い工事完成を

残工事の一括施工が本年度で4年目となり、引き続き土工事、道路工事、宅地造成が進められ、早期完成は地権者をはじめこの事業に関わる多くの住民の願いであり一日も早い工事完成を要望する。
(西田)

全会一致 可決

5年度に新浄水場の方向性示す

5年度水道事業会計予算

収益的収入	7億9,793万円
収益的支出	7億3,435万円
資本的収入	5億3,998万円
資本的支出	6億9,528万円
給水戸数	16,024戸
年間給水量	364万5,263m ³
1日平均給水量	9,960m ³

主な質疑

Q 浄水場共同整備は適切な時期に明確な方向性を示すと施政方針にあるが、適切な時期とはいったい何か。

A 5年度になると思う。

Q 水道料金改定の考えはあるのか。

A 水道事業は全国的に厳しい状況になっており、本町も近い将来に改定が必要な時期が来ると考える。

全会一致 可決

水洗化戸数は増加

5年度下水道事業会計予算

収益的収入	9億9,605万円
収益的支出	9億3,737万円
資本的収入	3億4,239万円
資本的支出	5億9,998万円
水洗化戸数	16,050戸
年間排水量	367万2,808m ³
1日平均排水量	10,035m ³

主な質疑

Q 処理場費の維持管理契約期間を短くして委託費の削減の考えはないか。

A 5年の契約期間で、短い期間よりも費用自体が下がる事も考えられる。調査研究し考えたい。



町のデザインマンホール

用語解説

収益的収支…主に維持管理の関係
資本的収支…主に設備投資の関係

収入＝使用料、負担金
収入＝補助金、借入金

支出＝維持管理費、人件費
支出＝事業費、償還金

全会一致
可決

中学校運動部活動の地域移行・ 出産子育て応援事業

4年度一般会計補正予算（第8号）

令和5年第1回臨時会を1月30日に開催し、一般会計予算に8077万円を追加し、一般会計総額を151億2879万円としました。

主な質疑

部活動の地域移行

休日の中学校運動部活動の地域移行を、5年度から円滑に実施するための準備に係る予算です。

Q 休日のみの活動とのことだが、平日に学校を移動しての部活動は可能か。

A 現時点では学校の枠を超えての活動は考えていない。

Q 指導者研修の内容は。

A 体罰の防止や各競技のコーチングなど、競技に精通した専門家を講師に考えている。

伴走型子育て支援

妊娠届出時から計3回の面談を行います。また、妊娠届出時に出産応援金と、出産時に子育て応援金それぞれ5万円を給付します。

Q これまでの母子健康推進員の活動と重複しないのか。

A 今回の事業では専門職が面談を行うため、母子健康推進員の活動とは異なる。



全会一致
可決

事業費確定により不用額を 減額補正

4年度一般会計補正予算（第9号）

年度内の執行がないことが確定した予算の減額分を中心に、歳入歳出それぞれ8億1808万円を減額し、総額を143億1071万円としました。

主な質疑

プレミアム付き商品券

4年8月～11月に販売したプレミアム付き商品券の予算から、購入されなかった分を減額しました。

Q どのくらいの割合の人が購入したのか。

A 世帯によって購入額は異なるが、購入した世帯の割合は68・4%である。



1億6727万円の予算で
約3億5300万円の経済効果

風疹の追加的対策

風疹予防接種を一度も受けていない特定の世代の男性に、国が令和元年より公費による抗体検査・追加接種を行っています。

3年度までの予定でしたが、6年度末まで延長されています。

Q 現在までの抗体検査受診率はどのくらいか。

A 3年度末の時点で、対象者4591人のうち1715人が受診しており、37・3%である。4年度は受診者がほとんどおらず、率はほぼ変わっていない。

人事案件

人権擁護委員

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うための議案が提出され、全会一致で適任としました。

木島 和美氏（嬉里郷）
きしま かずみ

柏田 正氏（高田郷）
かしわだ ただし

江島 英典氏（嬉里郷）
えじま ひでのり

全会一致
可決

コロナワクチン接種

5年度一般会計補正予算（第1号）

5年度に行われる新型コロナワクチン接種費用として1億839万5千円を追加補正し、総額を145億6628万2千円としました。全額が国からの支出金です。

全会一致
可決

出産育児一時金が増額

国民健康保険条例の改正

健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金を40万8千円から48万8千円に増額するものです。

主な質疑

Q 増額8万円の金額の根拠は何か。

A 国によると平均的な出産費用が46万7千円なので、これを賄える金額として国が決定したものだと思われる。



安心して出産・子育てのできる社会へ

全会一致
可決

高校生にも医療費を助成

福祉医療費の支給に関する条例の改正

県が高校生世代の福祉医療費助成制度を新設するに伴い、本町独自で行っていることも福祉医療費助成の対象年齢を「15歳まで」から「18歳まで」に拡大します。

主な質疑

Q 中学生までの助成は現物給付なのに、高校生世代はなぜ償還払いなのか。

A 県が償還払いで制度を構築しているためだが、3年間試行した後、7年度に検証・再協議を行う予定である。

Q 本町は独自で小中学生への医療費助成を行っているが、今回の県の制度で助成されるのは高校生世代だけになるのか。

A そうなる。

令和5年第1回臨時会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第1号	令和4年度長与町一般会計補正予算（第8号）	可決（全会一致）

令和5年第1回定例会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第2号	長与町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第3号	長与町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第4号	長与町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第5号	長与町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第6号	長与町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第7号	令和4年度長与町一般会計補正予算（第9号）	可決（全会一致）
第8号	令和4年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第9号	令和4年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第10号	令和4年度長与町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第11号	令和4年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第12号	令和4年度長与町水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第13号	令和4年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第14号	令和5年度長与町一般会計予算	可決
第15号	令和5年度長与町国民健康保険特別会計予算	可決（全会一致）
第16号	令和5年度長与町後期高齢者医療特別会計予算	可決
第17号	令和5年度長与町介護保険特別会計予算	可決（全会一致）
第18号	令和5年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計予算	可決
第19号	令和5年度長与町水道事業会計予算	可決（全会一致）
第20号	令和5年度長与町下水道事業会計予算	可決（全会一致）
第21号	人権擁護委員の推薦について	適任（全会一致）
第22号	人権擁護委員の推薦について	適任（全会一致）
第23号	人権擁護委員の推薦について	適任（全会一致）
第24号	令和5年度長与町一般会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）

賛否が分かれた議案（○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席）議長は原則採決に加わらないため※で表示

議案番号	八木亮三	松林敏	西田健	浦川圭一	中村美穂	安部都	内村博法	安藤克彦	金子恵	岩永政則	堤理志	河野龍二	竹中悟	西岡克之	山口憲一郎	審議結果
第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	可決
第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	可決
第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※	可決

■棄権：議員自らの意思により表決に参加しないこと。 ◆除斥：議員は自らに利害関係のある事件の議事に参与することができないこと。

11人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与南交流センター、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の中継・配信

本会議の様子を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

10	八木 亮三 議員	① 政策形成・実施における科学的・合理的・法的根拠の重要性について
11	金子 恵 議員	① 行財政運営について ② 公園の管理・整備について
12	内村 博法 議員	① 図書館及び健康センターの複合化施設建設計画について ② 上水道及び下水道の整備について
13	西岡 克之 議員	① 安心して安全な子育て環境の整備について ② 長与町の諸問題について
14	安藤 克彦 議員	① 水産業の振興について ② 移住促進の取組について
15	堤 理志 議員	① 子どもの居場所づくりについて ② パートナースHIP宣誓制度について ③ 希望がもてる令和5年度の行政運営について
16	安部 都 議員	① 小中学校の卒業・入学式や授業でのマスク着用について ② 公共施設などのユニバーサル視点でのバリアフリー対策について
17	中村 美穂 議員	① 防災行政について ② 学校の防犯カメラの導入について
18	西田 健 議員	① 安全な生活環境づくりの取り組みについて ② 中尾城公園の草スキー場整備について
19	松林 敏 議員	① 避難所運営について ② 公共施設等不具合通報アプリの導入について ③ 関係人口・交流人口の創出について
20	河野 龍二 議員	① 公共施設利用について ② 学校給食費の軽減対策について



男子のHPV予防接種に助成を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 町での助成は情報不足で難しい

■議員 行政には科学的知見に基づき住民の命と健康を守り、偏りのない教育や福祉を実現する責務があるが、一部自治体や行政機関、国会議員・地方議員は非科学的な誤った情報に基づき政策を進めている。本町には科学的・合理的で正しい情報を基にした施策の実行を求めたい。まず、子宮頸がん予防に高い効果がありながら危険性をおおる報道などから公費接種が中止されていたHPVワクチンについて、女子は公費接種が再開されたので、男子の任意接種に助成をすべきと思うかどうか。

■町長 男子への接種も有効という報告はあるが、町として任意接種に助成するには情報が不足しており難しい。

■議員 安全だと自分で判断して任意で受ける人への助成なので、行っているのではないか。先進自治体の実績などを調査し検討してはどうか。

■こども政策課長 実施済

みの自治体の調査は行っているが、安全性などの面から本町としてはまず女子の接種率を上げることが第一に進めたい。

有機給食への疑義

■議員 他自治体で「農薬が発達障害の原因」などの嘘説を根拠とした給食のオーガニック化の動きがあるが、これは慣行農業や発達障害当事者への誤解や偏見につながる。この動きをどう見ているか。

■町長 保護者や生産者など関係者で給食について議論されることは有意義だと考えるが、事実に基づかない主張によるオーガニック給食導入は風評被害や偏見を助長する結果になりかねない。正しい情報に基づきメリット・デメリットや実現可能性などを議論すべきと考える。

■議員 給食は子どもが中心であるべきだ。本町の学校給食が、科学的に誤った根拠でオーガニック化を求める大

人たちの主義主張の実現の場になることはないと考えているか。

■教育委員会理事 学校給食は食育と、児童生徒にとって安心・安全であることを最重要に実施していく。

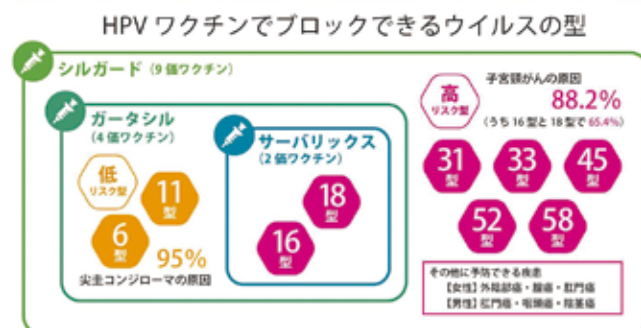
パートナー制度

■議員 パートナーシップ制度導入を求めた前回の一般質問で、LGBT支援者団体が導入に消極的なことを言っていたとの主旨の答弁があった。

だが、本人に確認したところ「制度は導入すべきで、発言が否定的な文脈で使われたなら不本意だ」と言っていた。第三者の意見を都合よく曲解するなど許されないが、どう考えているか。

■町長 消極的な意見をもたらしたという主旨の答弁はしていない。町内の当事者から相談がないのは見えない壁があるからかも知れないので理解促進に努めたいという主旨だった。

子宮頸がん－HPV ワクチンについて



子宮頸がんは男性にも責任が。自分のためにも接種を (画像は大阪府のやまもとよりそいクリニック HP より)



かねこ 恵 議員

どう考えている 町の財政状況



この QR コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 自主財源3割 交付金などが7割

■議員 町の財政状況をどう考えているか。

■町長 コロナ禍の影響で町税などが減収する一方で感染症対策、生活支援に対する財源となる国県支出金などの額がコロナ禍前より水準が高いことから自主財源が占める割合は約3割、地方交付金、国県支出金、地方債などが約7割で構成されている。

■議員 財政健全化のために実施している政策は何か。

■町長 第5次行政改革大綱に掲げる項目に対し、実施計画を定め、毎年度の評価を行う中で次年度取り組み内容について見直しを行っている。



行財政改革は住民が望むまちづくりへの一歩！

■議員 財政調整基金を活用した予算編成を行っていると思う。本町において、健全な財政運営をするための財政調整基金はどのくらいか。

■財政課長 令和3年度末の財政調整基金は14億8千万円である。標準財政規模の10%から20%の間が目安とされており、本町の4年度の標準財政規模が、約82億円であることを考慮すると、8億円から16億円が保有すべき財政調整基金の目安とされ必要と考える。

書かない窓口導入

■議員 デジタル化による窓口機能改善の取り組みはどのようなものか。

■町長 国の方針の下、転出・転入に係る手続きや子育て・介護に関する手続きをオンラインで行えるよう整備を進めており、来庁せずに手続きができる体制を優先的に整備し利便性向上を図っている。

■議員 デジタル化による書かない窓口はデジタル田園

都市構想の補助対象になる。導入をどう考えるか。

■情報政策課長 書かない窓口に係る経費は同交付金の対象である。今後、いろいろな補助金などが出てくる可能性もある。それらを幅広く活用しながら検討を進めていきたい。

問 どうする親水公園の管理と活用

■答 必要範囲で県と協働を図っていく

■議員 施設方針で述べた町公園施設長寿命化計画の改訂は進んでいるのか。

■町長 4年度中に改訂業務を終える予定としている。

■議員 改訂後の保守・維持管理はどのように考えているか。

るか。

■土木管理課長 通常の維持管理および専門家による遊具の点検を引き続きしていきたい。

■議員 JR長与駅前の親水公園は県の管轄だが、管理は町である。今後、どのように管理し活用していくのか。

■町長 平成19年度に県事業で整備し、20年度末に県、町で維持管理に関する覚書を交わし、町が除草などの日常的な維持管理業務を担うこととなっている。河川法に定められた権限は県側にあるとされている。今後も定期的な除草などの維持管理を行い、水辺に親しみを持って利用できるような必要な範囲で県との協働を図っていきたい。



町の管理で安心・安全に利用できる公園に!!



うちむら ひろのり
内村 博法 議員

北陽台入口の交差点信号機改善を

回答 警察と協議し総合的に検討する



この QR コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



ヴェーテラス北陽台入口の交差点信号機の
早期改善を !!

■ 議員 ヴェーテラス北陽台およびイオンタウンへ向かう交差点の信号機が、坂を登りきったところにあるため、対向車線の直進車両が見えづらく、右折車がぶつかりそうになるため、時差式もしくは右矢印が付いた信号にして欲しいとの要望を町民から受けている。また、新図書館等複合施設整備基本計画パブリックコメントでも渋滞緩和のための交差点の改善要望が出て

いる。この交差点の改善については渋滞緩和も含め、どのように考えているか。

■ 町長 今後、近隣に複合施設が開館されることとなっており、渋滞がひどくなることとが想定されることから、右矢印が付いた信号機の設置や歩行者用信号機が変わるタイミングを変更するなど、このことを含め、警察と協議の上で総合的に検討していく。

も検討している。

問 新浄水場共同事業の脱炭素対応は

答 小水力発電施設の設置などを検討

■ 議員 現在、本町の浄水場の老朽化対策として長崎市との新浄水場共同整備事業が検討されているが、新施設の脱炭素の対応はどのような計画となっているか。

■ 町長 本町および長崎市ともに、令和3年3月にゼロカーボンシティを宣言しているが、新施設の脱炭素の対応としては、まず、萱瀬ダムからの導水落差を利用した小水力発電施設の設置について検討している。次に、本町の3カ所の浄水場をはじめとした複数の施設の集約、統廃合により動力の削減が可能となることから、脱炭素につながるものと考えている。また、本事業の事業者選定に係る評価指標に脱炭素に係る提案についての評価項目を加えることも検討している。

■ 議員 長崎市との建設費および維持管理費用の負担割合はどのようになるのか。

■ 町長 基本的には配水量の割合によって案分するよう想定している。

■ 議員 長崎市との共同事業により、本町の水道料金はどの程度安くなるのか。

■ 町長 浄水場の共同整備と単独整備を比較するとインシャルコストおよびランニングコストともに共同整備の方が安価となることから、将来的に料金改定を実施したときに改定率を低く抑えることができるものと考えている。

■ 議員 長崎市では年間約3万トンの下水汚泥を100%再資源化しており、6割を肥料、4割を建設用資材として再利用している。本町の再利用状況はどのようになっているか。

■ 町長 年間約1800トンの下水汚泥が発生しているが、その全てをセメントの材料などの建設用資材として再資源化している。



伴走型子育て支援体制は大丈夫か



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 訪問事業の充実を図る

■議員 少子化はコロナ禍において想定を上回るスピードで進んでいる。子どもを持つこと自体をリスクと考える若者も増えている。この現状を重く受け止め、公明党は、誰もが子どもを安心して生み育てられ、十分な教育が受けられる社会づくりを目指し子育て応援トータルプランを発表した。子どもも親も希望を持って幸せを実感できる社会への構築に向けて、構造改革を本気で進めて行くべきと思う。そこで、0歳児の見守り訪問について伴走型支援はどのような計画が尋ねる。

■町長 本町では、新生児のいる家庭を全戸訪問し、産後の母親、乳幼児の保健指導、生活状況の把握をしている。また、生後4カ月までの乳児のいる家庭を母子保健推進員が訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児の悩みに対応している。専門的な支援が必要な時は助産師や保育士が訪問し対応している。

■議員 今回の支援は伴走



住民に分かりやすい案内を！

問 役場女性トイレにおむつ交換台を
実態踏まえトイレ
環境整備を検討

型支援だ。寄り添うような支援の実施をお願いしたい。産後ドゥーラ（※）の確保についてはどうするのか。

■町長 指摘の家事育児支援員の確保は、母子保健推進員経験者など8人で子育てへの不安や悩みに対して専門的相談支援を行っている。

■議員 本町在住でさまざまな年代から悩み、要望を聞

いた中で、一部を伝えるので回答をもらいたい。例えば「役場女性用トイレ内に乳幼児おむつ交換のスペースがない」「バリアフリートイレがない」「いまだに和式トイレがある」などはどうか。

■町長 1階と4階にあるだれでもトイレおよび1階の授乳室のおむつ交換台を利用してもらっている。バリアフリートイレは1階と4階にだれでもトイレを設置している。ベビーチェアは、今後1階に設置の方向で検討していく。和式トイレは「肌が直接

便器に触れない」などの理由で好まれる人もいる。今後洋式トイレ非接触対策で使い捨て便座シート設置も考える。

循環バスを考えて

■議員 町内循環バスは出せないか。

■町長 乗合タクシーの試験運行を実施したが、利用者が伸びなかった。町の公共交通として、既存のバス路線と整合性を図りながら、交通事業者と協議する。

■議員 マイナンバーカード普及を兼ねて、65歳以上の入へ公共交通機関利用でのメリットの考えはないか。

■町長 他自治体の先進的な取り組みを参考に、町民へカードを取得するメリットを感じてもらえるように研究する。

※産後ドゥーラ

産前産後の母親に寄り添い、家事や育児をサポートする産後ケアの専門家。



大村湾の漁場環境の現状は

回答 改善傾向だが取り組みを継続する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 本町の漁業は小型和船での操業が中心で、季節ごとにさまざまな魚種に出会うことができる。一方、漁場の大村湾は環境の悪化により水揚げ量が減少している。町は海底耕うんや浮遊物除去などへの支援を行い、漁場の環境を調査しているが現状はどうか。

■町長 令和3年度の調査によると、ヘドロの原因となる海底の硫化物は前年度より減少し、砂を撒いている区域では特にその値が低い。また、海底生物の種類および個体数も増加傾向で、海底耕うんなどの活動は底質環境の維持改善に効果があったと推測する。漁場環境の整備については継続した取り組みが必要で、今後とも大村湾漁協などの活動主体への支援と連携した取り組みを推進したい。

■議員 稚魚放流事業の実績と課題は何か。

■町長 持続可能な漁業を目指し、漁協と連携してナマコやヒラメなどの放流を毎年し



集めた海岸ゴミを分別する漁業者のみなさん

ている。4年度は46800尾行った。4年度に関しては直売所のナマコの販売数・販売額ともに前年度の1.8倍に増加しており、放流の効果が表れているのではと推測される。ナマコは放流後、成長までに2年かかり、外敵も少なくない。稚魚が隠れやすい岩礁帯への放流や稚魚の生息の場となる藻場の再生など、複合的な取り組みを進める。

カキ養殖への支援

■議員 農業政策では苗木や資材の購入に対し一定の支援を行っている。同様なカキ養殖者への支援策はできないか。

■産業振興課長 農業分野では特産品の高付加価値化の面から支援を行ってきた。カキの養殖体験の効果検証も含め、カキの種苗購入への支援も検討していきたい。

■議員 長与川の舟津橋下流部は土砂の堆積でかなり浅く、干潮時には蛇行しないと船の通行は難しい。地域行事のペーロンでは權が川底に当たる状況だ。対策はないのか。

■町長 河川管理者の県に訪ねたところ、「指摘部分は河川断面が大きく、流下能力が低下するほどの堆積がないため、現状では事業化は難しい」とのことであった。しかしながら、必要な箇所については今後も要望を行っていき

問 お試し住宅導入の考えは

答 現状では物件がない

■議員 近年、人口減少に悩む市町村でお試し住宅(※)という制度が増えてきた。実際に生活体験する中で、本町の魅力を発見してもらい、定住人口の拡大につながる良い機会になると思う。制度導入の考えはないか。

■町長 お試し住宅については現状では提供できる物件がないが、既存の宿泊研修施設を活用した相談会の実施を検討したい。

※お試し住宅

移住をする前にその町で生活を体験するための自治体が準備した住宅。その自治体での日常生活を体験することで、理想と現実のミスマッチを防ぐ事を目的としている。



町中心部に学習スペースを

回答 必要性を検討する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



町の真ん中に、勉強できるスペースがほしいね

■議員 委員会視察で、青少年が自分らしく過ごせる居場所や学習スペースの必要性を感じた。これに関連して、町長から新図書館内への設置を検討する旨の答弁があったが、高校性の利便性と商店街の活性化の面から中心部の平地にも子どもの居場所を設置できないか。

■町長 さまざまな取り組みをやっているが、ニーズ把握を行い、既存施設の利用拡大や必要性などを検討したい。

長与駅ホール開放

■議員 JR長与駅の中にあるコミュニティホールを、

待ち合わせ・団らん・学習スペースの用途で活用できないか。

■契約管財課長 防犯上の観点から懸念がある。

■議員 ガラス張りであり、それが防犯上利点だと考える。さらに暑さ、寒さをしのげる場所がない。その対策としてもコミュニティホールを活用すべきではないか。

■課長 今後、利用できる方向で考えていきたい。

問 パートナリシップ制度を導入せよ

■答 国県での制度が望ましい

■議員 性的マイノリティは偏見の対象だったものが人権の問題へと理解が進んでいる。しかし、町は依然、後ろ向きだと判断せざるを得ない。住民へ理解を促す先頭に立つべき行政が、住民の理解が進んでいないからとの理由で制度を採用しないことは、本末転倒との感を抱く。早期に実施すべきではないか。

■町長 各自治体で異なった取り扱いとならないよう、国や県の制度として、統一的、広域的な運用が望ましいと考えている。町は啓発活動と人権相談業務に努めていきたい。

問 希望が持てる行政運営を

■答 ガイドブックの活用拡大を検討

■議員 コロナ禍により商業は大打撃を受けた。また、価格高騰で消費者も苦勞している。こうした状況を踏まえ、引き続き消費者、事業者双方を支援する施策が重要

と考える。個人消費者向け店舗が自社商品の特色、営業場所、アピールポイントを記載した冊子を商工会と連携し全戸に配布してはどうか。

■町長 店舗の魅力、情報を紹介したガイドブックを作成し幅広く活用しているが、令和5年度にリニューアルする予定であり、掲載事業者を改めて募集し利用促進につなげたい。

■議員 各世帯に一冊配布するようにできないか。

■産業振興課長 全戸分の予算は不足するが、設置場所、SNSでの発信など検討したい。

スタンプで商品券

■議員 ガイドブックにスタンプ欄を設け、買い物の際スタンプを押し、一定に達すると商品券を進呈することを検討してはどうか。

■課長 商工会がデジタルのスタンプラリーを実施しているもので、これと連携できないか話をしてみる。



役場庁舎前障がい者駐車場移設を

回答 正面玄関横も含め今後検討する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



雨に濡れない屋根付き駐車場を！

■議員 役場庁舎前障がい者駐車場を武道館側と県道側に移転し屋根を付けて安心安全を確保したらどうか。

■町長 かなり大がかりな工事になることや、長与小登下校時の接触の危険性から、正面玄関すぐ横の屋根付きにする方がより適していると考える。今後引き続き検討する。

■議員 障がい者が参加する会議室の椅子やトイレ、庁舎窓口へ杖置きホルダーを設置したらどうか。

■町長 現在、役場1階会計課前など一部の場所に設置している。今後は、机や椅子

などに簡単に取り付けができる着脱式の杖ホルダーを利用し、杖置きが必要と思われる会議などに活用できればと考えてる。

■議員 全ての投票所でユニバーサル視点でのバリアフリー対策は整っているのか。

■町長 9カ所全ての投票所で、段差解消を図りバリアフリー化を図っている。また、ユニバーサル視点で、選挙管理委員会や明るい選挙推進協議会において協議し、アンケート調査を行い、案内表示を工夫したり場内案内係を配置したりするなど、環境整備に努めている。

■議員 日本に帰化している外国人についても言葉の壁の障壁があるが、ユニバーサル視点での投票所の環境が整えられているのか聞く。

■総務課長 これまで言葉の壁を感じたことがなかったが、今後は、対応可能な職員を配置したり、翻訳アプリなど便利な機能などで対応したい。令和5年4月の統一地方

選挙に向けて障がい者対応マニュアルを作成中だ。

問 ノーマスクへの周知啓発対策は

答 個人の判断に委ねられるもの

■議員 自分の意思でマスクを着ける子、着けない子がいえると思うが、ノーマスクの周知、啓発はどうしていくのか。

■教育長 マスクの着用は、個人の判断に委ねられるもので、マスクの着用、非着用は、いずれかを推奨することは考えていない。着脱についても取り扱いを強いることがないよう、指導に努めていく。

■議員 卒業時のマスク着用と4月からの対応について

はどうか。

■教育長 基本的に、国県からの通知に沿って対応するが、卒業式においては歌唱の場面を除いて卒業生にマスクの着用を求めないのと同様に、卒業式全体を通してマスクを着用したいと考える児童生徒に関しては、その判断を尊重する。いずれにしても卒業式に関しては、児童生徒の判断を尊重し、強要や同調圧力などがないように努めていく。5年4月からの対応についてはマスクの着用を求めないことを基本とするが、いまだ正式な通知などが届いてないので、詳細を述べることは控える。



マスクなしの卒業式
みんなの顔も見れて嬉しかった～



防災公園の検討は

回答 総合的に研究していきたい



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



防災、災害発生時には消防団の協力が不可欠

■ **議員** 災害発生時の対応について、初動対応が重要であると思う。町職員初動マニュアルを策定し、対応するとの事だが、避難所設置訓練は部局ごとに年に何回くらいしているのか。

■ **地域安全課長** 令和4年度は2回実施している。実際に避難所開設もしている。

■ **議員** 災害協定を町はどのような事業者と締結しているのか。

■ **課長** 小売業者、ドラッグストア、運送業者、レンタル資機材などである。

■ **議員** 防災、災害発生時には消防団の協力が不可欠であるが、火災以外でどのような活動があるのか。

■ **課長** 避難所運営の補助、台風大雨災害の際、地域の巡回や復旧作業、自主防災訓練の補助など幅広く活動している。

■ **議員** 防災公園は避難場

所や大規模救出・救助活動拠点やヘリコプター活動拠点などを兼ね備えた場所であるが、その中でマンホール型防災トイレやかまどベンチがある。公園のリニューアルの時に備えとして検討できないか。

■ **土木管理課長** 今後公園の改修の際に、総合的に研究していきたい。

■ **議員** 防災訓練を町全体でなくても地区コミュニティ単位などで実施できないか。

■ **地域安全課長** 自主防災訓練は新型コロナウイルスの影響で開催ができなかったため、平時に戻し、少しずつ規模を拡大していきたい。

問 学校の防犯カメラの設置状況は

答 長与小学校以外は未設置

■ **議員** 小中学校の防犯カメラの設置状況はどうか。

■ **教育長** 長与小学校は4カ所、それ以外の学校には設置していない。

■ **議員** 学校への防犯カメラ設置について、県教育委員会の指針があるのか。

■ **教育委員会理事** 防犯カメラに特化した規定は無いが、平成31年4月に改訂された県の学校における安全管理の手引きの中に、監視カメラ等の防犯設備の設置という項目があり、学校や地域の実情に応じて検討すると示されている。

■ **議員** 防犯カメラの設置は、子どもたちを守る、犯罪の抑止につながると思うがどうか。

■ **理事** 防犯カメラは設置の是非、有効性なども含めて検討している。

■ **議員** 学校は地域に開かれ、子どもたちが伸び伸びと安心して生活できる場所でないといけないと思うが、防犯に対しての考えはどうか。

■ **教育長** 子どもたちの命を守る事は何よりも優先すべき事でさまざまな事を講じてしっかり守っていく。



特殊詐欺対策の取り組み状況は



この QR コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 被害防止のため啓発活動を実施



巧妙化する詐欺にご注意を！

■議員 特殊詐欺被害が増加し社会問題になってきている。手口が巧妙化してきており、警察や金融機関などの連携強化はもちろんであるが、高齢者を含めた町民への意識啓発の更なる強化が必要と思う。各種対策の実施状況はどうか。

■町長 住民からの相談対応のために消費生活相談員を配置している。令和4年度は架空請求など88件の相談があった。被害防止の取り組みとしては、広報などがよに毎月、消費者注意報を掲載し、ニセ電話詐欺や悪質商法の各種手口の情報やアドバイスを周知している。また、詐欺にだまされないように消費

生活出前講座を実施しており、4年度は老人クラブなど4団体102人が受講している。啓発のイベントとしては、毎年12月の年金支給日に合わせ、イオンタウン長与の敷地内で、町防犯協会と時津警察署などと合同で悪質商法などの被害防止を目的とした啓発活動を実施している。

■議員 意識啓発を図るための新たな取り組みの考えはあるか。

■町長 被害者が高齢者に限らず若年層にも拡大してきている。4年4月から成人年齢が18歳に引き下げられたことから、中学生への消費者教育について、5年度から実施できないか検討を行っている。

問 中尾城公園の草スキー場整備を

答 今後の方向性を検討する

■議員 4年10月に小学生の子どもと中尾城公園の草スキー場に遊びに行った際、受



安全管理の徹底を！
中尾城公園草スキー場

付で「転倒しやすいのでスピードを出さないように」と注意されたが、現場に行ってみるとスピード以前に斜面の起伏で安全に滑ることができない状態にあると感じたという町民の意見を聞いた。整備状況はどうしているのか。

■町長 草スキー場の使用については、まず使用前に滑り方の説明を行った上でソリの貸し出しを行っている。特に、初めて滑る人には、慣れるまでは低い位置から滑るよう案内している。一方で、4年度実施した専門家による点

検によると、設置から30年近く経過しており、人工芝の摩耗や固化が見受けられるとの報告がある。今後の方向性について検討していく。

■議員 現在は、まだ寒く利用者が少ない状況であるが、今後は暖かくなりさらに、春休みに入るため利用者が増加すると考えるが、今のままで大丈夫なのか。

■土木管理課長 危惧するところはあると思うが状況を見守りながら、総合的に判断していきたい。



防災士養成研修講座の開催は



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 県が開催する講座を周知する



良好な避難所生活のための研修を

■議員 熊本地震の時に避難所で健康被害やエコノミー症候群などが原因で亡くなった人が多く、避難所生活の質の向上が求められている。内閣府発表の避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針に「避難所の運営管理者となりうる者を対象とした研修や訓練の実施」とあるが、本町での取り組みはどうか。

■町長 自主防災組織による防災訓練の実施などの他、団体からの要望に応じた講習会や研修会を実施している。

■議員 避難所運営についての研修として防災士養成研修講座が有効と考えるが、本

議員 長崎は今、100

問 関係人口 交流人口の創出は

答 大村湾の活用の推進

■情報政策課長 通報という機能を用い、画像や地図情報もシンプルな操作で通報できるものとなる。

■議員 公共施設等不具合通報アプリの導入についての検討状況はどうか。

■町長 住民が道路の陥没やその他施設の損傷などに関する情報を幅広く、迅速に、負担なく通報できる方法として、SNSアプリLINEの使用を現在検討している。

問 不具合通報アプリの導入は

答 LINEの活用を検討中

町で開催する考えはないか。

■地域安全課長 本町での開催は難しいと考えるが、県が主催する講座を幅広く周知をしていきたい。



観光資源としての大村湾の活用推進

年に一度の変革期と言われるおり、本町にとっても関係人口(※)・交流人口を増やすチャンスだと考えるが、取り組みはどうか。

■町長 関係人口については、県立大学との包括連携などにより、本町との関わる

人々が増えるよう、興味を持つてもらえるような取り組みや情報発信に努める。交流促進については、重点施策として大村湾を生かしたまちづくりを推進している。

ご当地グルメ

■議員 本町の関係人口・交流人口を増やす取り組みとして、郷土料理やご当地グルメなどの食を生かしたまちの活性化が有効だと考えるがどうか。

■産業振興課長 まずは現在ある特産物や加工品の情報発信を行なっていく。本町ならではの「ご当地グルメ」を新たに創出するというのはハードルが高いと考える。商工会や関係者の意見を聞くことが必要と考える。

※関係人口

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。



公共施設の使用料免除の考えは

回答 公平性確保で応分の負担を求める



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



体育用具の点検も・・・古くなった支柱

■議員 平成29年度より公共施設の有料化が行われた。料金を徴収するなら、各種施設の備品や用具も使いやすい環境を整えるべきだと思うが、管理状況などをどう考えているか。

■町長 施設使用料を活用し、各種施設の器具などを整備してきた。利用者が使いやすいように今後利便性の向上に努めていく。

■議員 体育館施設で備品シールが読み取れないバドミントンやバレーボールの支柱があった。どのような管理を

しているのか。

■生涯学習課長 各課と施設の職員が備品の管理を行っている。

■議員 これらは相当の年数が過ぎている。支柱に限らず各種ネットなどを更新する必要があると思うがどうか。

■課長 備品の充実と整備は適正に努めていく。

■議員 長崎市では校区内の地域は体育館施設使用料が免除、時津町では登録団体は免除規定がある。本町でも考えられないか。

■町長 本町でも住民の負

担にならないよう減免処置がある。公平性の確保などに理解してもらい、今後も応分の負担をお願いする。

問 給食費の無償化の検討を

答 国県の動向があれば検討したい

■議員 以前質問した時に、学校給食費は「受益者負担の原則に基づいて徴収する」との回答だったが、どのような利益を得ていると考えているのか。

■教育長 給食費は学校給食法第11条で保護者の負担とすると規定されている。学校給食法施行令にも保護者負担とすると示されており、基本的には保護者が負担すべきと考えている。

■議員 受益者負担の考え方は困難性があると国会答弁でもある。受益者負担の考え方を变えるべきではないか。

■教育委員会理事 言い方を変えるのはやぶさかではないが、利益は得ていると考え

られる。

■議員 学校給食法第11条の保護者負担に対し、国会答弁で岸田首相は自治体の全額補助を否定しないと答弁している。保護者負担でなくともいいと判断できる。改めて無償化の検討ができないか。

■理事 今後、国あるいは県の負担軽減の方向性が示されるなどの動向があれば検討したい。

■議員 受益者負担と決め付けるのではなく、どうしたらできるかの検討・研究をしてほしいと思うがどうか。

■教育次長 給食費の無償化は、町全体の財源もあり慎重であるべきと思うが、できることであれば検討していく。



学校給食の無償化を！

議員3名に 町村議会議長会表彰



本町議会の議員3名が町村議会議長会表彰を受章し、3月7日に議場で表彰伝達が行われました。

全国町村議会議長会表彰

(議員在職27年)

河野龍二議員

全国町村議会議長会表彰

(議員在職27年)

岩永政則議員

全国町村議会議長会表彰

長崎県町村議会議長会表彰

(議員在職15年)



左：河野議員 右：岩永議員

子ども議会が開催されました



令和5年1月19日、町長が町民と直接対話する「ほっとミーティング」の一環として、長与町子ども議会が開催されました。長与南小 学校の6年生の中から9組18人の「子ども議員」が、長与町での暮らしの中で「どうしてこうなんだろう?」「もっとこうだったらいいのに」と思ったことを町に聞く「一般質問」を行い、町長や役場職員が一つ一つに真剣に耳を傾け、丁寧に答えました。

「防犯のため、みかんの形の街灯を作っては?」「ミックスのガチャガチャを設置するのはどうか」「ボルダリングやスケートボードができる施設を」など鋭い視点と豊かな発想の質問・提案に、傍聴した大人議員たちは「将来議員になる子もいるのでは」と頼もしく感じる



この中に未来の議員がいるかも?

とともに、子どもたちの思いにこたえ町づくりをしなければ、と身をひき締めていました。

次の定例会は **6月6日(火)** 開会の予定です。

長与町議会 (定数16)

長与町議会では本会議の様様をYouTubeでライブ配信しております。

また、過去の動画も公開しておりますので、どうぞご覧ください。

動画はこちらから



後列：竹中 悟 西岡克之(副議長) 山口憲一郎(議長)
中列：中村美穂 安部 都 内村博法 安藤克彦 金子 恵 岩永政則 堤 理志 河野龍二
前列：八木亮三 松林 敏 西田 健 浦川圭一

議長交際費

(令和5年1月1日～3月31日)

寸志・慶祝など 10,755円(2件)

香典・生花スタンドなど 68,850円(4件)

支出合計 79,605円(6件)



撮影者：清水綾華さん

(県立大学シーボルト校写真サークル Sun-Films ぱしゃ。)

タイトル：花びら香る季節 (本川内郷 長与ダム)

そよそよと風がなびいて、周囲には桜の花びらが舞っていました。

葉桜になっている部分もありましたが、花びらはまだまだ美しく咲く様子が見られました。

表紙の写真

編集後記

この号がお手元に届く頃には、新たな長与町議会議員が選出される改選が行われていると思います。

前回の選挙からのこの4年間は、コロナや戦争の影響で国内外ともに社会情勢はどちらかというと暗いものでしたが、こんな世の中だからこそ、全国の地方議会が、住民の生活を守り住民自治を滞らせないように一層の試行錯誤を行った4年間でもあり、長与町議会も議場コンサートやオンライン議会報告会、分割付託導入など初めての試みに挑戦しました。

町民の皆様はぜひ、改選後の長与町議会にも引き続き監視の目と叱咤激励をお寄せください。長与町議会はこれからも、町民と共に歩みます。

(八木 亮三)

議会広報広聴
常任委員会

委員長 八木 亮三
副委員長 安部 都
委員 松林 敏
西田 健
中村 美穂
内村 博法
安藤 克彦
竹中 悟



この「ながと町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。